



愛院大歯学部新校舎 完成祝う 名古屋、付属病院とつながる

愛知学院大歯学部の新校舎の落成式が27日、名古屋市千種区の末盛キャンパスの新校舎内で開かれた。付属病院と通路でつながり、歯科医療の最前線と一体化したキャンパスが完成した。

新校舎は2棟で駐車場だった場所に建てた。6階建てで延べ8900平方メートルの「臨床教育研究棟」には、医療系の図書館や研究室、講義室、セミナー室、自習室を備える。食堂のある「月見坂テラス」は、3階建てで延べ500平方メートルのガラス張りの建物。

落成式には、大学や工事の関係者らが出席した。小島泰道理事長は「多くの縁をちようだいし、立派な建物が出てきて感謝します。学生が利用できるように精進させていってください」とあいさつ。引田弘道学長は「研究がより発展し、学生もグループディスカッションできるように利用したい。地域の人の期待に応えられるように、教育、研究、診療に頑張っていく」と述べた。

出席者は、テープカットをして新校舎の完成を祝った。
(福本英司)